

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和5年5月2日(2023.5.2)

【国際公開番号】WO2020/219904
 【公表番号】特表2022-529518(P2022-529518A)
 【公表日】令和4年6月22日(2022.6.22)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-112
 【出願番号】特願2021-563139(P2021-563139)
 【国際特許分類】

10

C 0 7 D 4 0 1 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 P 4 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 P 3 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 K 4 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 K 3 1 / 5 1 7 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 D 4 7 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 K 3 1 / 5 1 9 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 D 4 0 3 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 D 4 1 3 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 A 6 1 K 3 1 / 4 7 0 9 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

20

【F I】

C 0 7 D 4 0 1 / 1 2 C S P
 A 6 1 P 4 3 / 0 0 1 1 1
 A 6 1 P 3 5 / 0 0
 A 6 1 K 4 5 / 0 0
 A 6 1 K 3 1 / 5 1 7
 C 0 7 D 4 7 1 / 0 4 1 1 7 Z
 A 6 1 K 3 1 / 5 1 9
 C 0 7 D 4 0 3 / 1 2
 C 0 7 D 4 1 3 / 1 4
 A 6 1 K 3 1 / 4 7 0 9
 C 0 7 D 4 0 1 / 1 4

30

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月24日(2023.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

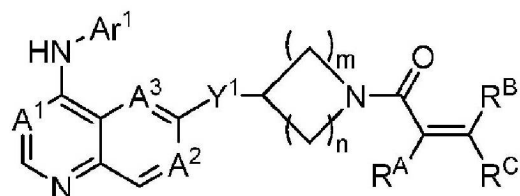
【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造式I

50

【化1】



(I)

10

(式中、

A¹は、C(R¹)及びNから選択され；A²は、C(R²)及びNから選択され；A³は、C(R³)及びNから選択され；

Ar¹は、アリール及びヘテロアリールであって、それらのいずれかは、1つ又は2つのR⁴基で任意に置換されており、及びそれらのいずれかは、1つ、2つ又は3つのR⁵基で任意に置換されている、アリール及びヘテロアリールから選択され；

R^A及びR^Bは、H及びアルキルから独立して選択され；R^Cは、H、CH₃及びCH₂NR¹⁵R¹⁶から選択され；

R¹は、八口、-CN、-OR⁶、-NR^{7a}R^{7b}、-COOR⁸及び-CONR^{9a}R^{9b}から選択され；

R²は、H、アルキル及びアルコキシから選択され；R³は、H及びアルキルから選択され；

各R⁴は、アルキル、シクロアルキル、ヘテロシクロアルキル、アリール及びヘテロアリールであって、それらのいずれかは、1つ又は2つのR¹⁰基で任意に置換されている、アルキル、シクロアルキル、ヘテロシクロアルキル、アリール及びヘテロアリールから独立して選択され；

各R⁵は、八口、-CN、-OR¹¹、-NR^{12a}R^{12b}、-COOR¹³及び-CONR^{14a}R^{14b}から独立して選択され；

各R⁶、R^{7a}及びR^{7b}は、H、アルキル及びC(=O)アルキルから独立して選択され；

各R⁸、R^{9a}及びR^{9b}は、H及びアルキルから独立して選択され；各R¹⁰は、八口、ヒドロキシ及びアルコキシから独立して選択され；

各R¹¹、R^{12a}及びR^{12b}は、H、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆八口アルキル及びC(=O)C₁₋₆アルキルから独立して選択され；

各R¹³、R^{14a}及びR^{14b}は、H及びC₁₋₆アルキルから独立して選択され；R¹⁵及びR¹⁶は、H及びC₁₋₆アルキルから独立して選択されるか、又は

R¹⁵及びR¹⁶は、それらが両方とも結合される窒素と一緒に、結合して、5~7員ヘテロシクロアルキルを形成し；

m及びnは、1及び2から独立して選択され；及び

Y¹は、-NH-及び-O-から選択され；

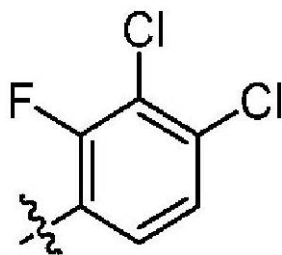
但し、mが2であり、且つnが2であり、及び

A¹がC(R¹)であり、A²がC(R²)であり、且つA³がC(R³)であり、及びR¹がCNであり、R²がC₁₋₂アルコキシであり、且つR³がHである場合、Ar¹は、

40

50

【化2】

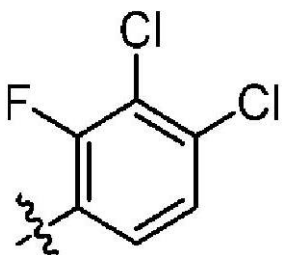


10

ではない。

或いは、 m が2であり、及び n が2である場合、 Ar^1 は、

【化3】



20

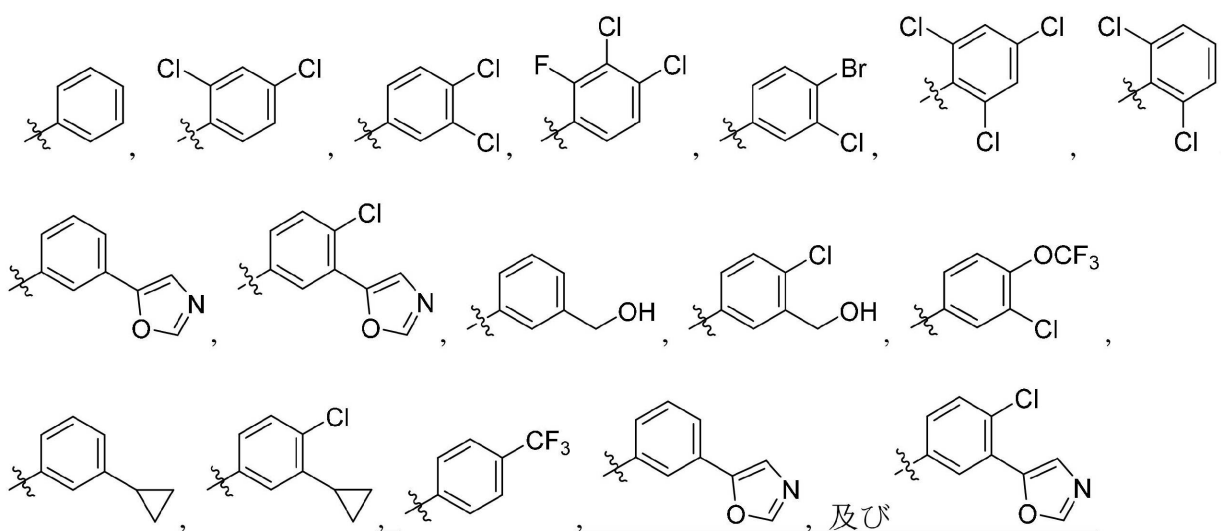
ではない)

の化合物又はその塩。

【請求項2】

 Ar^1 は、

【化4】



30

40

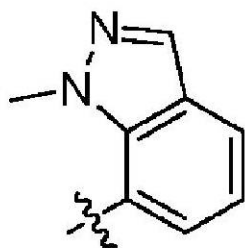
から選択される、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

 Ar^1 は、

50

【化 5】



10

である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

Y^1 は、 $-O-$ 、又は、 $-NH-$ である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 5】

m は、1 であり、及び n は、1 である、或いは、
 m は、1 であり、及び n は、3 である、
 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の化合物。

20

【請求項 6】

m は、2 であり、及び n は、2 である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 7】

A^1 は、 $C(CN)$ である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 8】

A^2 は、 $C(OCH_3)$ であり；及び

A^3 は、 $C(H)$ である、請求項 7 に記載の化合物。

【請求項 9】

A^1 は、 N であり；

A^2 は、 $C(H)$ であり；及び

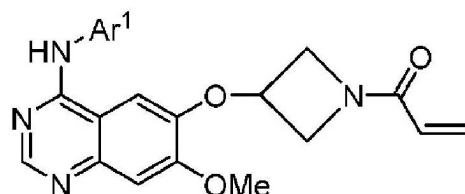
A^3 は、 N である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の化合物。

30

【請求項 10】

構造式 (VI)：

【化 6】



(VI)

40

(式中、

Ar^1 は、アリーール及びヘテロアリーールであって、それらのいずれかは、1つ、2つ又は3つの R^5 基で任意に置換されている、アリーール及びヘテロアリーールから選択され；

各 R^5 は、ハロ、 $-CN$ 、 $-OR^{11}$ 、 $-NR^{12a}R^{12b}$ 、 $-COOR^{13}$ 及び $-CONR^{14a}R^{14b}$ から独立して選択され；

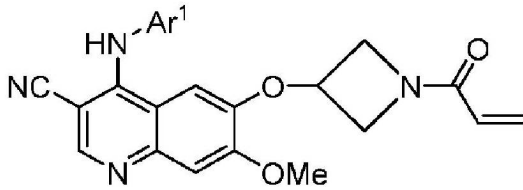
各 R^{11} 、 R^{12a} 及び R^{12b} は、 H 、 C_{1-6} アルキル、 C_{1-6} ハロアルキル及び $C(=O)C_{1-6}$ アルキルから独立して選択され；及び

各 R^{13} 、 R^{14a} 及び R^{14b} は、 H 及び C_{1-6} アルキルから独立して選択される)

50

を有する、
 或いは、
 構造式 (VII) :

【化7】



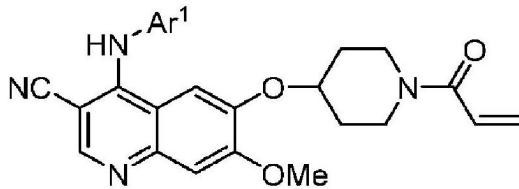
(VII)

10

(式中、
 Ar^1 は、アリール及びヘテロアリールであって、それらのいずれかは、1つ、2つ又は3つの R^5 基で任意に置換されている、アリール及びヘテロアリールから選択され；
 各 R^5 は、ハロ、-CN、-OR¹¹、-NR^{12a}-R^{12b}、-COOR¹³及び-CO-NR^{14a}-R^{14b}から独立して選択され；
 各 R^{11} 、 R^{12a} 及び R^{12b} は、H、C₁~6アルキル、C₁~6ハロアルキル及びC(=O)C₁~6アルキルから独立して選択され；及び
 各 R^{13} 、 R^{14a} 及び R^{14b} は、H及びC₁~6アルキルから独立して選択される)
 を有する、
 或いは、
 構造式 (VIII) :

20

【化8】



(VIII)

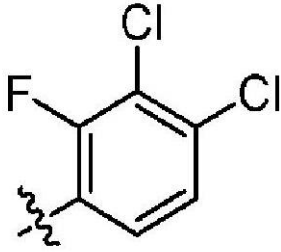
30

(式中、
 Ar^1 は、アリール及びヘテロアリールであって、それらのいずれかは、1つ、2つ又は3つの R^5 基で任意に置換されている、アリール及びヘテロアリールから選択され；
 各 R^5 は、ハロ、-CN、-OR¹¹、-NR^{12a}-R^{12b}、-COOR¹³及び-CO-NR^{14a}-R^{14b}から独立して選択され；
 各 R^{11} 、 R^{12a} 及び R^{12b} は、H、C₁~6アルキル、C₁~6ハロアルキル及びC(=O)C₁~6アルキルから独立して選択され；及び
 各 R^{13} 、 R^{14a} 及び R^{14b} は、H及びC₁~6アルキルから独立して選択され、但し
 mが2であり、且つnが2であり、及び
 A^1 がC(R¹)であり、 A^2 がC(R²)であり、且つ A^3 がC(R³)であり、及び
 R^1 がCNであり、 R^2 がC₁~C₂アルコキシであり、且つ R^3 がHである場合、 Ar^1 は、

40

50

【化 9】



10

ではない)

を有する、

請求項 1 に記載の化合物又はその塩。

【請求項 1 1】

Ar¹ は、フェニルであり、且つハロ及び -CN から選択される 1 つ、2 つ又は 3 つの R⁵ 基で置換されており、

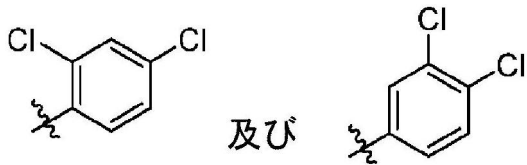
更に、

Ar¹ は、F 及び Cl から選択される 2 つ又は 3 つの R⁵ 基で置換されていてもよく、

Ar¹ は、

20

【化 1 0】



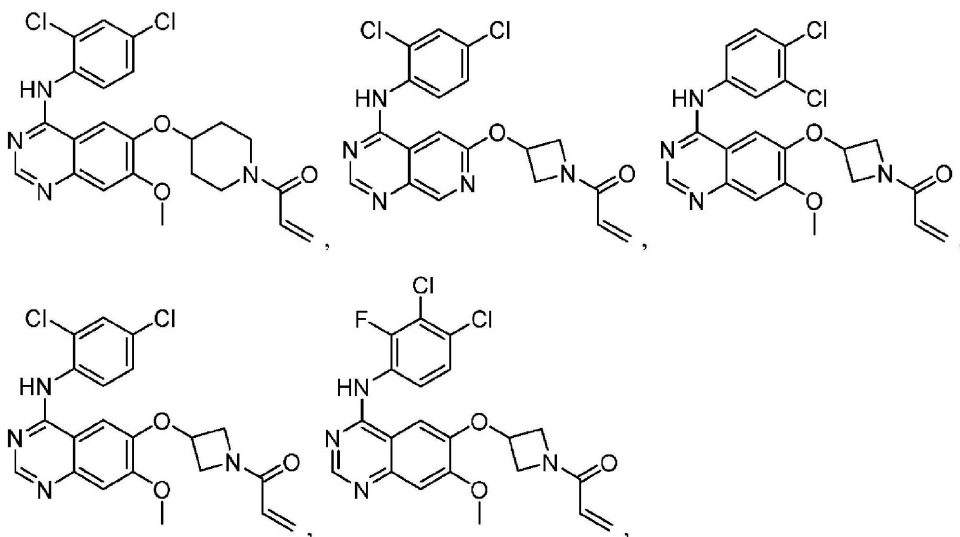
から選択される基であってもよい、

請求項 1 0 に記載の化合物。

【請求項 1 2】

30

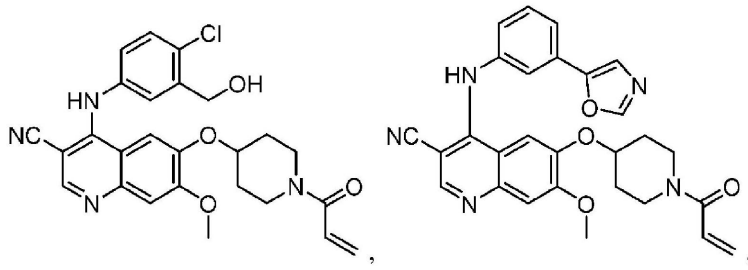
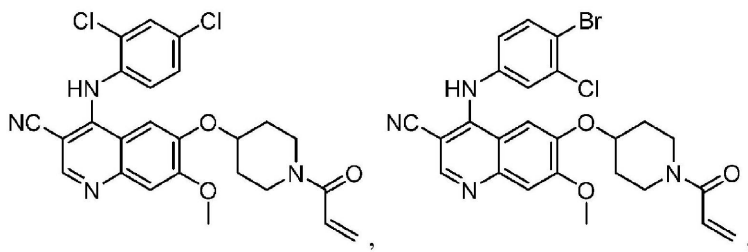
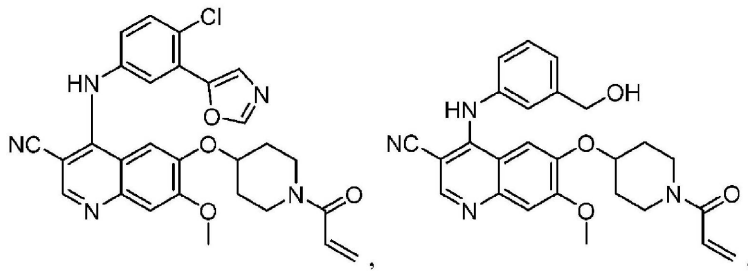
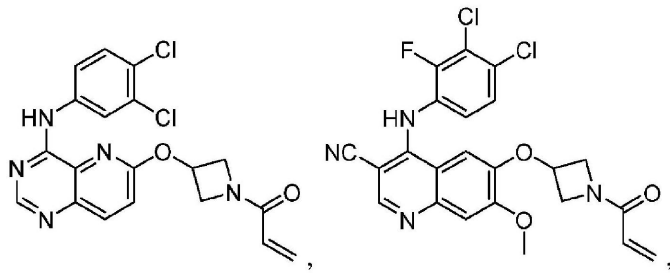
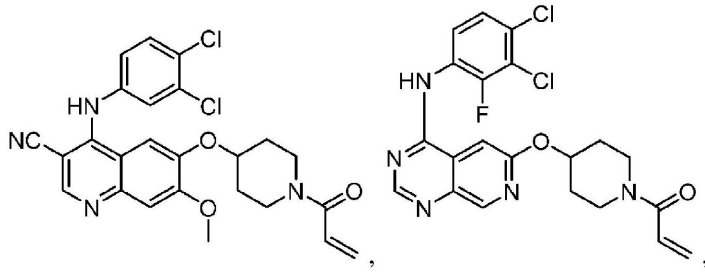
【化 1 1】



40

50

【化 1 2】



10

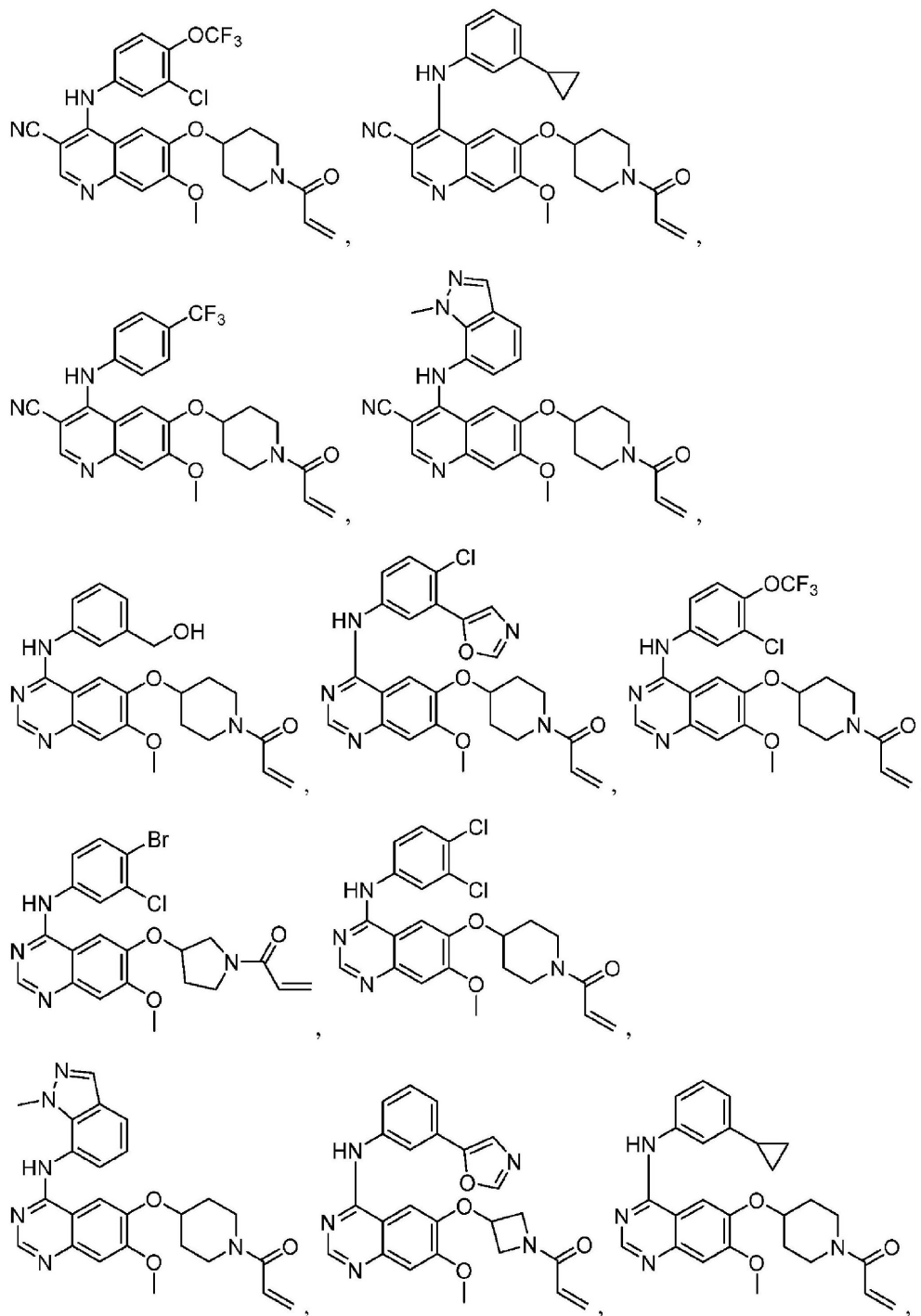
20

30

40

50

【化 1 3】



10

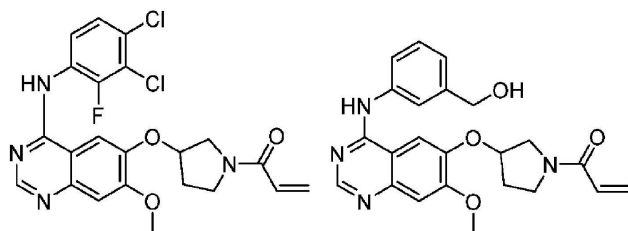
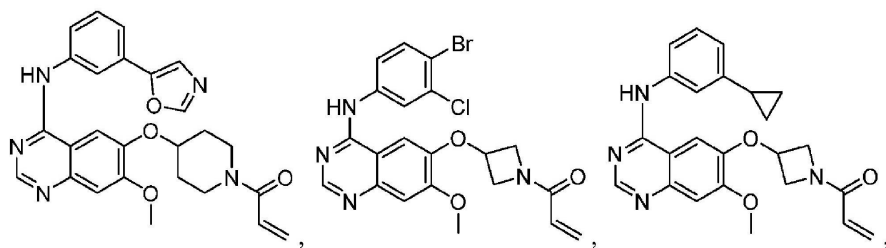
20

30

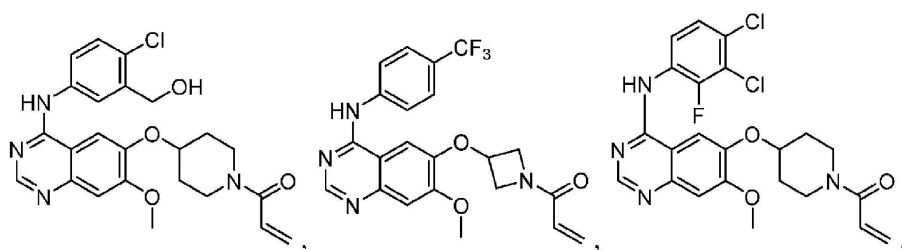
40

50

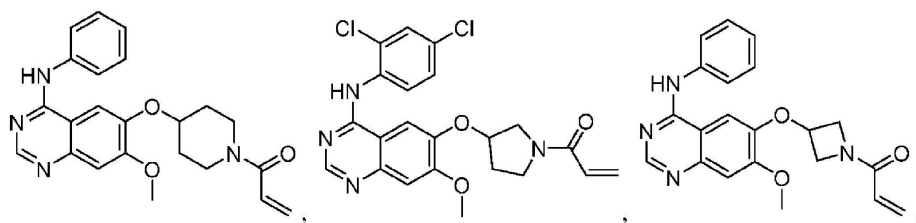
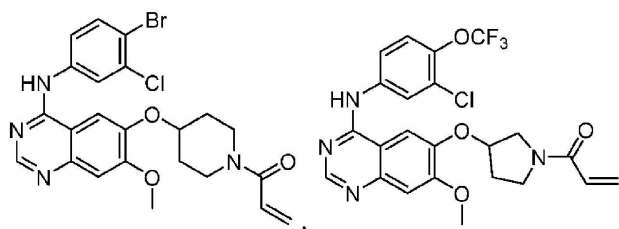
【化 1 4】



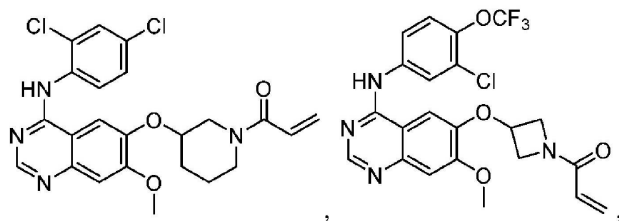
10



20



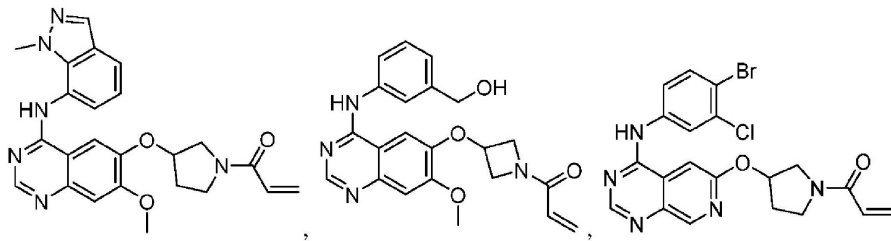
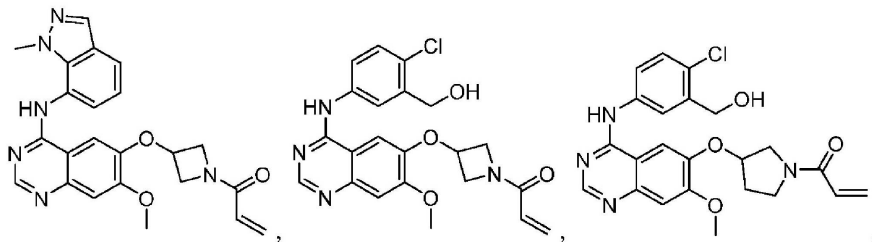
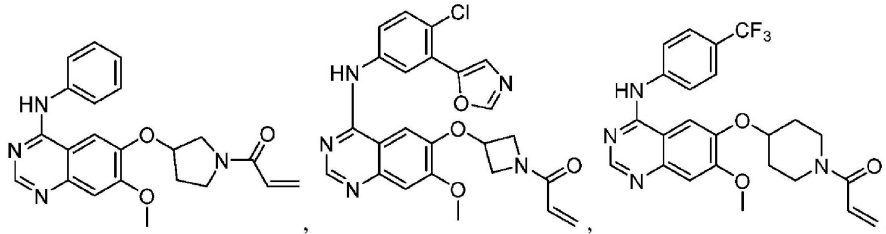
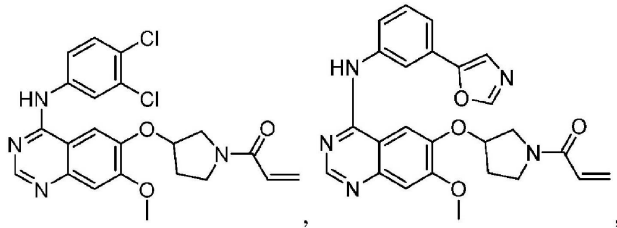
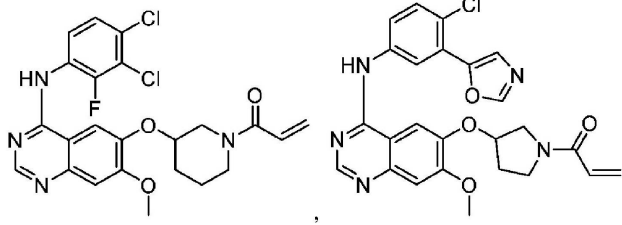
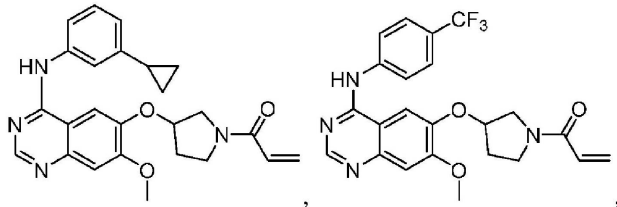
30



40

50

【化 1 5】



10

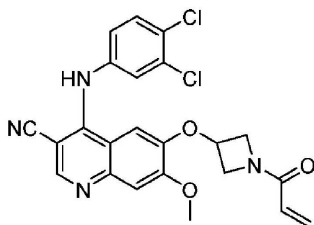
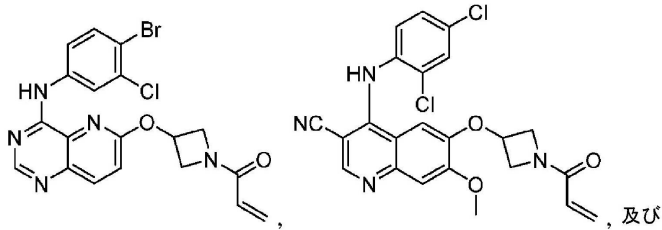
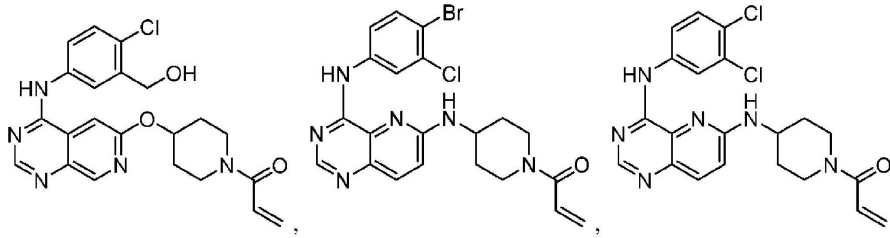
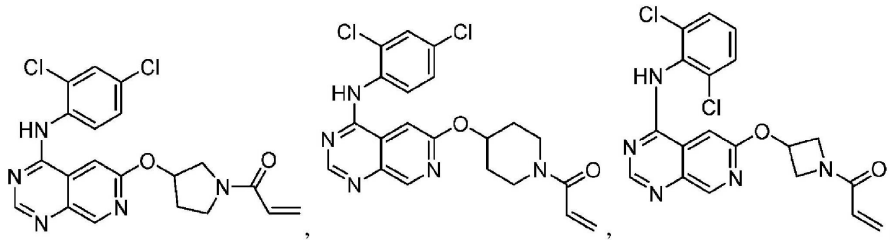
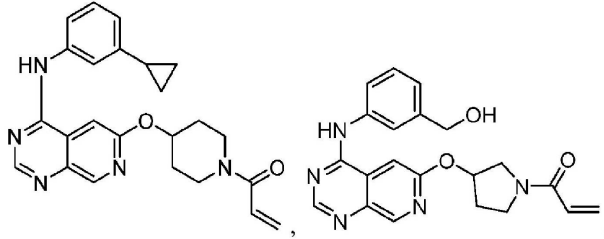
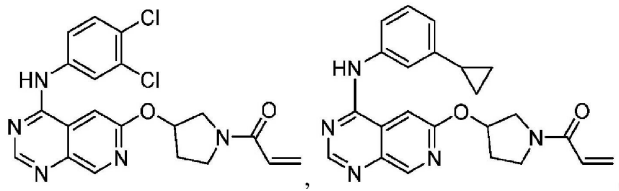
20

30

40

50

【化 1 8】



10

20

30

40

から選択される、請求項 1 に記載の化合物又はその塩。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の化合物又はその塩を含む医薬。

【請求項 1 4】

癌の処置に使用するための、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の化合物又はその塩を含む医薬。

【請求項 1 5】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の化合物を、薬学的に許容される担体と一緒に含む医薬組成物。

50